

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柊花-ひいらぎのはな-		
○保護者評価実施期間	24年1月23日		24年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2024/2/3		2024/2/14
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	25年4月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧な構造化(時間的構造化・物理的構造化・視覚的構造化) 定めたスケジュールを崩さない事前準備	その日の流れはタイムスケジュールを大きく提示している。 レクリエーションの内容を写真と文章で細やかに説明した工程表を作成し、ご利用日前日に利用者様にデータで送信・当日は紙媒体でお渡しし、説明の時間を設けている。 スタッフがアラームをかけて時間通りに動けるようにしている。	工程表の質を上げて、よりお子様が安心して確認のできる視覚支援を作る。 無理のないスケジュールになっていないか、客観的な確認も行う。
2	LINEによるプログラムや持ち物案内、提出物のリマインドなど家族支援	提出書類などは締め切り前には必ずリマインドを行っている。 特別必要なものについては、1ヶ月以上前に事前にご案内をしている。 ご利用される前日に、プログラムと送迎の連絡をしており、当日もお迎えのご連絡をしている。	引き続き取り組んでいく。
3	プログラム内容	利用されるお子様が楽しんで頂けるように、過去に行って楽しかった所や行きたい所をリサーチしている。	お子様方に直接もう一度お聞きする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員事務所が子どもの支援する場所と隣接している。	お子様方が事務所においでいるものが気になり、入ってしまうことがある。	他のものに興味関心をひいていく。 事務所のものが見えないように隠せるものは隠す。 肯定的な言葉で誘導していく。
2			
3			

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	放課後等デイサービス 桜花-ひいらぎのはな-
------	------------------------

公表日 25年4月25日

利用児童数 36

回収数 31

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	2	0	2	・室内で遊ぶのは少し狭い気もします。	・建物の構造上できる室内遊びを提供しております。 また、今年度に移転を予定しておりますので、現在の場所より室内が広くなる予定です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	6	・職員の方が何人その日におられるのかわからないので分かりません。	・職員数は、定期的にスタッフ紹介でお知らせをしておりますので、今後もお知らせさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4	2	4	・入り口すぐ階段などところ。 ・室内の環境がわからないので、分かりません。	・年間で何回か事業所に来て頂く機会を作らせて頂いているので、今後もお知らせさせていただきます。ご参加頂けますと幸いです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	1	・中に入れて頂くことがなくなったので分かりません。	・年間で何回か事業所に来て頂く機会を作らせて頂いているので、今後もお知らせさせていただきます。ご参加頂けますと幸いです。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0		記載なし1名
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0	・長期的な目標（取り組み）を決めて（3ヶ月とか）毎日少しずつ同じことをしてできるようになる事を増えるといいなと思います。本人と相談して目標を決め、挑戦できたらシールをはるなど・・・	・モニタリングをする中で、より具体的に振り返り
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1	0	0	・5領域に応じたプログラムが散りばめられているのが良い。	

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	0	6	16		記載なし1名 ・今後、地域の保育園との連携を図り、活動する段取りをしております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	2	11	・親自身にも特性があるケースは多いと思われませんが、だからこそ親も学ぶ必要性はあると感じております。ただ学ぶ場がなく方法も難しいので提供頂けると助かります。 ・情報などあれば教えて頂きたいです。	・事業所内での研修会を、今年度開催を予定しているので、お知らせさせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	5	0	1		・面談の機会は定期的にとらせて頂いているので、引き続きアナウンス致します。また、今後も職員もより高度な助言が行えるように経験を積んでいくように努めさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	5	12	・まだ家族で参加ができていません。	・保護者様参加型のイベントなどは開催させて頂いているので、内容や趣旨をより分かりやすくお知らせ致します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	3	0	4	・すぐに電話を頂いたり迅速に対応して頂いております。	・今後も安心して頂けるように、迅速な対応を心がけて行なって参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	0	1		・定期的にLINEでその日のご様子やご成長された点などお伝えしていけるように致します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	0	0	0		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	0	0	0	・マニュアルの内容の説明はして頂いて ましたか...?初回説明の際に ありましたか?	・ご契約の際に周知をさせて頂いて おりますが、よりわかりやすい 形で提供できるように致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0	・写真付きで報告して頂いているので わかりやすいです。 ・訓練内容を文章とともに写真で 送ってくれるのでわかりやすいです。	・今後も文章や写真を合わせて ご報告致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1	0	0	・速やかに写真とともに連絡がくるので 有難いです。	・引き続き、事故などが起こった際は 迅速に対応致します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	2	0	0	・かなり安心している。	・ご安心して頂けるように、 お子様にも保護者様にも 過ごしの情報提供して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	2	0	0	・お出かけを楽しみにしていますが、 遠出も多いため、安全運転の啓発に 努めて頂きたい。 ・かなり楽しみにしている。	・お出かけを多くさせて頂くので、 ご安心頂けるよう、これまで通り スタッフ間でも安全運転の啓発に 努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0	・HUGについて「本日の様子」の後に 「サービス提供記録へのコメント」を 記入できれば、より情報の提供が できると思う。 ・いつも有難うございます。 ・いつもありがとうございます。	・よりご満足いただけるよう、 情報共有をしやすい場を提供 させていただきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		柊花・ひいらぎのはな				公表日	25年4月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・物理的構造化して、活動のスペースと休憩するスペースと分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・新人のスタッフが入った際は、教育のため多く人員を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	・2階のため階段あり。 階段には滑り止めをしている。 ・部屋はバリアフリー ・体幹の弱いお子様には、別途手を繋ぐなど必ず補助をするようにしている。	・建物の構造上これ以上は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除と次亜塩素酸消毒を行い、清潔にしている。 ・時間的・物理的・視覚的構造化を用いて環境調整を行い、お子様が活動しやすい環境を提供している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・必要な場合は提供したり、時間で区切り行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・会議資料を作成して、社員で共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・アンケート結果を職員間で共有・把握し改善案を考えて実行している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・些細な意見などカンファレンスや日々の会話の中で汲み取り、改善できることを職員全員で取り組んでいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・月一回の社内研修の開催や、不定期の社外研修にも参加している。 また、社外研修の案内もスタッフに共有している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・日々の過ごし方やニーズの汲み取りをした上で、聞き取りなども行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・会議の場で共有すると共に、職員間でも意見を擦り合わせて行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・個別カンファレンスにて職員間で確認をしている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・標準化された項目を用いながら行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・プログラムが一定にならないように複数人で会議をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・職員全員で案を用いながら行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・ご利用者様の状況を見ながら適宜修正など行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・支援前に必ず個別カンファレンスを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・支援後は難しいため、後日行なっている。緊急性の高い事項は連絡ツールなどを用いて共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・記録をとる際は、その子のストレング스에注目できるようにし、ストレングスを活かせるように改善案を考えている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・職員間で話し合いながら行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	・組み合わせ方も、環境に応じて変えながら行なっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・お子様一人一人の特性に応じて、その強みや得意が現れやすい環境調整を行なっている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・参加する職員も他の職員から様子を聞き取り臨むようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・今後さらに整えていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・アプリやメールなどで共有を受けている。トラブルの際は、電話で迅速に連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・可能な限り行なっている。	

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		・今後、移行先との連携を図り放課後等デイサービスでの過ごし方も共有していけるようにこちらからアプローチしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・外部研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・おでかけ先の公園などで他のお子様との関わりがある。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・月1回、必ず参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時にご様子をお伝えすると共に、定期的に長くお話しできる時間を設けている。 また必要な場合は、そのお時間も設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・職員も様々な研修会に参加している。	・今後は社内でも研修会の場を作り、情報発信を行なっていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・連絡ツールで文面にも残しながら、口頭でも説明を行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・定期的に話し合う場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要な場合は、事業所による相談支援も行なっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・同一法人合同イベントのひいらぎフェスというイベントを開催しており、保護者様やお子様、ご兄妹様にも参加して頂き、交流の機会を提供している。	・今後は、保護者様参加型の茶話会などを開催していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・職員間ですぐに共有をし会議を行い、保護者様に謝罪と今後の対応についてお話しするようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・月1回ひいらぎのはな通信にて活動の報告をしたり、SNSでも随時レクリエーションの様子など発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・鍵付きの書庫に必ず保管するようにしている。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・LINEにてご利用日の前日に、プログラム内容や送迎担当者をお知らせし、提出物の締め切りのリマインドも行っている。 また、ご連絡のバイパスをスムーズにするために日頃のご様子をお写真付きでお伝えするようにしている。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・招待は現場難しくても、SNSなどを用いて発信活動を行なっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・訓練を行なった際は、必ず全保護者様にご様子のお写真と共にLINEにてご連絡をさせて頂いております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・年間スケジュールを作成して、それを元に行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・プロフィールシートにも記載欄を作り、職員も確認を行なっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・事前にお伺いをし、提供しないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・月一回行う社内研修で共有している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・起こった際は連絡ツールにて共有をしている。また、再発防止のため職員間でも話し合い、次はどうかまで必ず決めて決定事項を全職員に共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・月1回の社内研修にて行なっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・社内研修で全職員に共有して、共通認識を持って行なっている。	